

「フェリー太陽II」に会いに屋久島に

2021-10-3 池田良穂

会誌 Cruise & Ferry の第 30 号の編集も最終段階になり、新造客船のページに取り掛かりましたが、「フェリー太陽II」と「うみてらし」の写真がまだありません。

そこで鹿児島県の天気予報を見てみると10月1～3日には晴マークが並んでいました。「フェリー太陽II」を運航する屋久島町のホームページには、9月末までドックインですが、10月1日からは復帰予定とのこと。東北まで駆け抜けた台風の余韻が心配でしたが、急遽撮影に出かけることにしました。事実、1日は荒天で欠航でした。

大阪空港から鹿児島空港までわずか1時間15分。鴨池港横のホテルに入ると、まだ日没直前で、鹿児島港に戻る「フェリー屋久島2」や、出港する「フェリーあまみ」、「クイーンコーラル8」の姿を部屋のベランダからカメラに収めることができました。

翌朝、鹿児島港から折田汽船の「フェリー屋久島2」で往復することになりました。朝8時半に南ふ頭を出港して、12時半に屋久島の宮之浦港に着き、1時間停泊してから出港して17時40分に鹿児島に戻ります。「フェリー太陽II」は、12時5分に口永良部島から宮之浦港に到着して、13時に種子島に向けて出港します。同船に会うには絶好のタイミングとなり、鹿児島から屋久島までの往復の航海も楽しめます。「フェリー屋久島2」に乗船するのは10数年ぶりですが、木甲板が張り巡らされ、展望ラウンジも充実した素晴らしい船です。運航する折田汽

船は、一度経営不振になったことから、このレベルが保たれているかが心配でしたが。

しかし、乗船してみると、老朽化している点は見られましたが、素晴らしい船内は当時と同じで、サービスもしっかりしていて快適でした。以下、写真でご紹介します。

鴨池港横のアートホテルのベランダから



屋久島から戻ってきた「フェリー屋久島2」です。



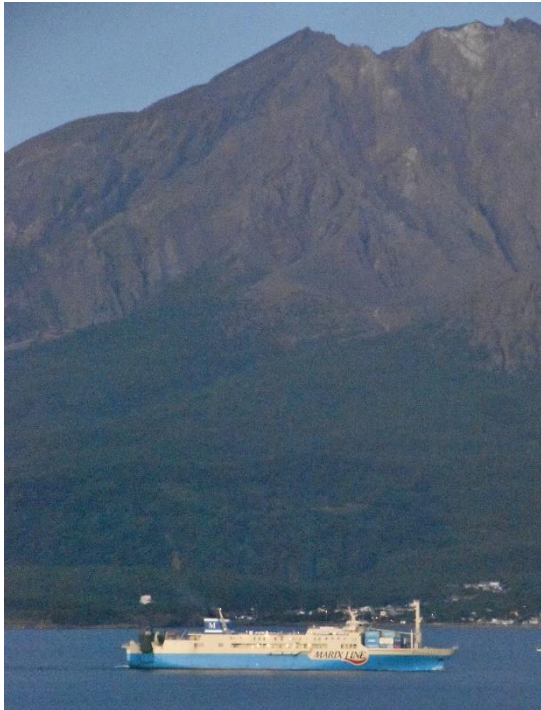
ホテルのベランダから撮影した、桜島の前で交差する「フェリー屋久島2」(右)と「フェリーあまみ」。



鹿児島港を出て奄美諸島に向かう「フェリーあまみ」。



対岸の垂水に向かって鴨池港を出港する「フェリー第七おすみ」の姿がベランダのすぐ下に見えました。



日没後、奄美諸島・沖縄本島に向けて鹿児島新港を出港したマリックスラインの「クイーンコーラル 8」。

「フェリー屋久島 2」に乗船



「フェリー屋久島 2」の木甲板は健在でした!!



前方に視界が開けた喫茶室の最前列のテーブル席を、往復共に利用させてもらいました。喫茶は営業しておらず、案内所で 1 杯 100 円のコーヒーを売っていました。



最上階デッキにある展望ラウンジも立派です。



8時半に「フェリー屋久島 2」は岸壁を離れました。すぐ前には「フェリーとしま 2」、奥には屋久島・種子島航路のジェットフォイルが停泊していました。



鹿児島港内には「プリンセスわかさ」と「フェリーきかい」が停泊していました。



出港する時にジェットフォイル「ロケット」が鹿児島港に入港してきました。



桜島航路の第 16、18 桜島丸の姿が遠望できました。



港内に並んで停泊する「プリンセスわかさ」(手前)と「フェリーみしま」。「プリンセスわかさ」は、「フェリー屋久島 2」より 10 分遅れで出港して種子島に向います。



鹿児島港を出港すると桜島が迫ってきます。まだ1等航海士が船首の見張りについています。この後、船は右に舵を切り、錦江湾を南下して屋久島に向います。



船内にはショーラウンジや会議室もあり、借りることが可能です。学会の講演会も開けそうです。



2時間ほど錦江湾を南下して、右手に開聞岳が見えて、船はいよいよ外海にです。



途中でクロスしたコンテナ船です。海面は穏やかそうに見えますが、台風の余波のうねりを船尾後方から受けていました。ただ船はほとんど揺れませんでした。



4時間余りの航海で屋久島に近づくと、島の山だけは雲に覆われていました。高い山に雲がかかり、大量の雨が降り、冬は雪に閉ざされ、それが屋久島独特の自然を形作るのだそうです。船内ビデオの受け売りですが。



屋久島の宮之浦港に近づくと、岸の岩場には白浪が砕けていました。台風のうねりが残っているせいです。



宮之浦港に入ると、「フェリー太陽Ⅱ」が着岸していました。丸い塔のある建物がフェリーターミナルビルです。



下船して、対岸に回って「フェリー太陽Ⅱ」の出港を待ちました。



「フェリー太陽Ⅱ」の出港です。小型船の割に船尾のランプが大きいのが特徴です。

再び「フェリー屋久島2」に乗船



宮浦港に1時間停泊した後、「フェリー屋久島2」は鹿児島に向けて出港しました。海面は穏やかに見えますが、右前方からのうねりを受けて船は結構揺れました。波の向きで船の揺れは大きく変わります。



錦江湾に入ると、湾の入口を横断する「フェリーなんきゅう」の姿が遠望できました。



チップ船 GT Hera と、琉球海運の「わかなつ」と反航しました。



「わかなつ」の雄姿です。RORO 貨物船ながら綺麗な船姿です。



沖縄に向かう RORO 船「うりずん 2」らしき船と反航しました。



貨物フェリー「第2種子島丸」と反航しました。



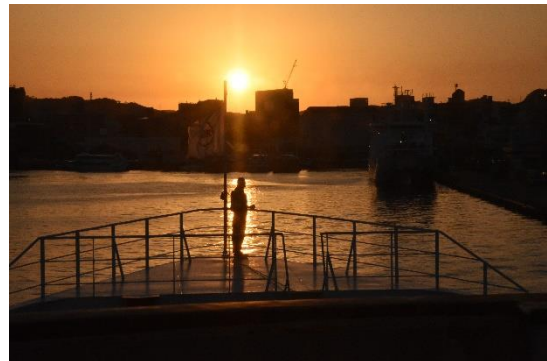
錦江湾横断航路の「フェリー第七おおすみ」と出会いました。



新港の埠頭にはマルエーフェリーの「フェリーあけぼの」が停泊しているのが見えました。



桜島の前で左に回頭して、船は南ふ頭に向かって鹿児島港に入港です。



日没直前に鹿児島港の南ふ頭に着岸しました。



ホテルに向かう途中、新港にできた公園から「フェリーあけぼの」の出港を見送りました。直前まで、夕日で赤く燃えていた桜島がすっかり暗くなっていました。